

日野市いじめ防止基本方針の一部改正 新旧対照表 \_\_は、改正部分を示す。

新	旧
<p>日野市いじめ防止基本方針</p> <p>改訂履歴（新規作成）</p> <p>Ⅰ頁 はじめに</p> <p>Ⅰ頁 はじめに</p> <p>（削除）</p> <p>日野市はいじめ防止対策推進法（平成２５年法律第７１号。以下「法」という。）第１２条の規定及び国の「いじめの防止等のための基本的な方針」の内容および、<u>「日野市いじめ防止対策推進条例」（令和８年４月制定）に基づき、「日野市いじめ防止基本方針」を改訂いたします。また、「日野市子ども条例」の基本理念も踏まえながら、多様な他者を認め合う社会の実現を目指し、日野市に生きる全ての子供たちが安心・安全に日常生活が送れるように、いじめの未然防止と早期発見、早期対応・解決に取り組み、いじめ防止等のために総合的かつ効果的に推進していきます。</u></p>	<p>日野市いじめ防止基本方針</p> <p>Ⅰ頁 はじめに</p> <p>Ⅰ頁 はじめに</p> <p><u>また、第２次日野市学校教育基本構想では、「かかわりの中で知恵を出し合い、自立・協働・創造に向けた２１世紀を切りひらく力を豊かに育みます」を基本方針として、「人とのかかわりの中で個性を磨き合い、２１世紀を切りひらく力の育成」「自分の大切さと他の人の大切さを認め行動できる豊かな人間性の育成」を図るために、人とのつながりを大切にし、コミュニケーション力等を鍛え、実践力や行動力につなげること、人権教育の一層の充実を図り、自分や他の人の大切さを認め合い、互いに尊重し合う態度を育むことを目指していきます。また、子供たちが自身が、子供たち同士で、様々な課題を解決し、認め合い、高め合う人間関係づくり、実践力、行動力を育むことを目指しています。</u></p> <p>日野市はいじめ防止対策推進法（平成２５年法律第７１号。以下「法」という。）第１２条の規定及び 国の「いじめの防止等のための基本的な方針」の内容に__に基づき、「日野市いじめ防止基本方針」を<u>策定</u>します。「日野市子ども条例」の基本理念のもと、<u>学校教育基本構想の実現を目指し、日野市に生きる全ての子供たちが安心・安全に日常生活が送れるように、いじめの未然防止と早期発見、早期対応・解決に取り組み、いじめ防止等のために総合的かつ効果的に推進していきます。</u></p>

「『いじめ』とは児童等に対して、当該児童等が在籍する学校に在籍している等当該児童等と一定の人間関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものも含む。）であって、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているものをいう。」

<法 第2条>及び<条例 第2条>

(1) いじめに対する定義

いじめとは、上記法第2条、並びに条例第2条によって、「当該児童・生徒が一定の人間関係にある他の者から、心理的又は物理的な影響を与える行為を受けたことにより、精神的な苦痛を感じているもの。」とし、個々の行為が「いじめ」に当たるか否かの判断は、表面的・形式的に行うことなく、いじめられた児童・生徒の立場に立って行うものとします。（起こった場所は学校の内外を問わない。）

3 頁

2. いじめの防止等の対策に関する基本理念

いじめへの対応は、いじめは決して許されないことであるとともに、「いじめは、どの子供にも、どの学校でも、どの地域社会でも起こり得るものであり、被害者にも加害者にもなる可能性がある」ことを十分に認識して、全ての関係者が連携して、いじめ問題への組織的な対応を図り、未然防止と早期発見・解決に当たります。

また、いじめの背景には、いじめを行う子供が過去に深刻ないじめを受けた経験

「『いじめ』とは児童等に対して、当該児童等が在籍する学校に在籍している等当該児童等と一定の人間関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものも含む。）であって、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているものをいう。」

<法 第2条>

(1) いじめに対する定義

いじめとは、上記法第2条によって、「当該児童・生徒が一定の人間関係にある他の者から、心理的又は物理的な影響を与える行為を受けたことにより、精神的な苦痛を感じているもの。」とし、個々の行為が「いじめ」に当たるか否かの判断は、表面的・形式的に行うことなく、いじめられた児童・生徒の立場に立って行うものとします。（起こった場所は学校の内外を問わない。）

3 頁

2. いじめの防止等の対策に関する基本理念

いじめへの対応は、いじめは決して許されないことであるとともに、「いじめは、どの子供にも、どの学校でも、どの地域社会でも起こり得るもので\_\_\_\_\_ことを十分に認識して、全ての関係者が連携して、いじめ問題への組織的な対応を図り、未然防止と早期発見・解決に当たります。

また、いじめの背景には、いじめを行う子供が過去に深刻ないじめを受けた経験

や多様なストレスなどが考えられます。全ての子供たちがいじめを行わず、いじめを認識しながら放置されることがないように、子供たち一人一人が、「いじめが、いじめられた子供の心身に深刻な影響を及ぼす許されない行為であること」を十分に理解できるようにしながら、いじめの根絶に向け、すべての児童・生徒、地域住民等（地域住民等 「市の市域内に在住し、在勤し、若しくは在学する者又は市の市域内で事業を営む者をいう。」 以下同様。）は「いじめは、しない、させない、許さない」という強い決意をもち、互いに協力しながら、あらゆる場で「いじめをしない、させない、許さない」ための行動を実践し、いじめの根絶に努めます。

## 5 頁

### 1. いじめの防止等のための市や教育委員会における取組

#### ① 日野市いじめ問題対策連絡協議会

いじめの防止等に関係する機関及び団体（以下「関係機関等という。」）の連携を図るため、日野市いじめ問題対策連絡協議会を置きます。

所掌事項は以下の内容とします。

- ・ 学校又は地域住民等におけるいじめの防止等のための対策に関する事項
- ・ いじめの防止等に関係する機関及び団体の連携に関する事項
- ・ その他、いじめ防止等のための対策に関する事項

#### ② 日野市教育委員会いじめ問題対策委員会

日野市教育委員会は、日野市いじめ問題対策連絡協議会との円滑な連携の下に、いじめの防止等のための対策を実効的に行うようにするため、日野市教育委員会に日野市教育委員会いじめ問題対策委員会を置きます。

所掌事項は以下の内容とします。

- ・ いじめの実態把握及び分析、いじめの防止等のための調査研究に関する事項
- ・ 市立小・中学校におけるいじめに関する対策に関する事項
- ・ いじめの防止等のための対策への支援に関する事項

や多様なストレスなどが考えられます。全ての子供たちがいじめを行わず、いじめを認識しながら放置されることがないように、子供たち一人一人が、「いじめが、いじめられた子供の心身に深刻な影響を及ぼす許されない行為であること」を十分に理解できるよう \_\_\_\_\_ にしなければなりません。

## 5 頁

### 1. いじめの防止等のための市や教育委員会における取組

#### ① 日野市いじめ問題対策連絡協議会

いじめの防止等に関係する機関及び団体（以下「関係機関等という。」）の連携を図るため、日野市いじめ問題対策連絡協議会を置きます。

所掌事項は以下の内容とします。

- ・ 地域社会又は学校におけるいじめの防止等のための対策に関する事項
- ・ いじめの防止等に関係する機関及び団体の連携に関する事項
- ・ その他、いじめ防止等のための対策に関する事項

#### ② 日野市教育委員会いじめ問題対策委員会

日野市教育委員会は、日野市いじめ問題対策連絡協議会との円滑な連携の下に、いじめの防止等のための対策を実効的に行うようにするため、日野市教育委員会に日野市教育委員会いじめ問題対策委員会を置きます。

所掌事項は以下の内容とします。

- ・ いじめの実態把握及び分析、いじめの防止等のための調査研究に関する事項
- ・ 市立小・中学校におけるいじめに関する対策に関する事項
- ・ いじめの防止等のための対策への支援に関する事項

- ・ 法第28条第1項に規定する重大事態（以下「重大事態」という。）が発生した場合には、同項に規定する組織として同項に規定する調査または調査部会からの調査報告書の審議（以下「法第28条調査」という。）を行い、その結果を教育委員会に報告または答申する事項

6 頁

## 2.いじめの防止等のための市立小中学校における取組

### (1) 学校いじめ防止基本方針の策定

- ・ 学校は、法第13条、並びに条例12条に基づき、東京都いじめ防止基本方針、日野市いじめ防止基本方針を参考にして、保護者や地域住民の参画の下、いじめ防止等に係る取組内容について、学校いじめ防止基本方針を策定し、公表します。

7 頁

### (3) いじめの未然防止の取組～いじめを許さない学校づくり～

#### (ア) 教職員の指導力の向上と組織的な対応

#### ② いじめに関する研修の計画・実施

年間を通して、いじめの未然防止、早期発見・対応のための教員研修会を実施していきます。

- ・ 「人権教育プログラム（学校教育編）」の活用
- ・ \_\_\_\_\_（削除）
- ・ 東京都教育委員会「いじめ総合対策」の活用

7 頁

### (イ) いじめを防止し、いじめを見て見ぬふりしないための取組

子供たちが自らいじめ問題等の問題に向き合い、解決する力を身に付け、実践していけるようにしていきます。

#### ① 人権教育の充実

いじめは、相手の人権を侵害する行為であり、決して許されるものではないこと

6 頁

## 2.いじめの防止等のための市立小中学校における取組

### (1) 学校いじめ防止基本方針の策定

- ・ 学校は、法第13条 \_\_\_\_\_に基づき、東京都いじめ防止基本方針、日野市いじめ防止基本方針を参考にして、保護者や地域住民の参画の下、いじめ防止等に係る取組内容について、学校いじめ防止基本方針を策定し、公表します。

7 頁

### (3) いじめの未然防止の取組～いじめを許さない学校づくり～

#### (ア) 教職員の指導力の向上と組織的な対応

#### ② いじめに関する研修の計画・実施

年間を通して、いじめの未然防止、早期発見・対応のための教員研修会を実施していきます。

- ・ 「人権教育プログラム（学校教育編）」の活用
- ・ DVD「STOP!いじめ」の活用
- ・ 東京都教育委員会「いじめ総合対策」 \_\_\_\_\_

7 頁

### (イ) いじめを防止し、いじめを見て見ぬふりしないための取組

子供たちが自らいじめ問題等の問題に向き合い、解決する力を身に付け、実践していけるようにしていきます。

#### ① 人権教育の充実

いじめは、相手の人権を侵害する行為であり、決して許されるものではないこと

を子供たちに理解させる。また子供たちが人の痛みを思いやることができるように、人権教育の基盤である生命尊重の精神や人権感覚を育むとともに、人権意識の高揚を図ります。

- ・ 道徳や特別活動等で年3回の「いじめに関する授業」の実施
- ・ 「人権教育プログラム（学校教育編）」の活用
- ・ \_\_\_\_\_（削除）
- ・ 「思いやりの心」をテーマに校長講話の実施（ \_\_\_\_\_（削除） ）

#### 7-8 頁

##### ② 心の教育の推進

他人を思いやる心や人権意識を高め、いじめをしない、許さないという人間性豊かな心を育てるために、学校・家庭・地域が一体となった心の教育を推進します。

道徳の授業では、子供たちの実態に合わせ、心情を揺さぶる教材や資料を工夫し、人としての「気高さ」「優しさ」等に触れさせ、自分自身の生活や行動を省みることができるようにする。

\_\_\_\_\_（削除）

#### 8 頁

##### ⑦ いじめ防止活動に関わる関係諸機関・地域等との連携

- ・ いじめ問題対策連絡協議会の開催（年1回）
- ・ 地区ごとの保護司・民生児童委員との連絡会・訪問
- ・ \_\_\_\_\_（削除）
- ・ 学校運営協議会の開催
- ・ P T A ・ 育成会等との連携
- ・ 警察との連携

#### 9 頁

を子供たちに理解させる。また子供たちが人の痛みを思いやることができるように、人権教育の基盤である生命尊重の精神や人権感覚を育むとともに、人権意識の高揚を図ります。

- ・ 道徳や特別活動等で年3回の「いじめに関する授業」の実施
- ・ 「人権教育プログラム（学校教育編）」の活用
- ・ 「いじめ防止カード」の活用
- ・ 「思いやりの心」をテーマに校長講話の実施 （いじめ防止7つのアクション）

#### 7-8 頁

##### ② 心の教育の推進

他人を思いやる心や人権意識を高め、いじめをしない、許さないという人間性豊かな心を育てるために、学校・家庭・地域が一体となった心の教育を推進します。

道徳の授業では、子供たちの実態に合わせ、心情を揺さぶる教材や資料を工夫し、人としての「気高さ」「優しさ」等に触れさせ、自分自身の生活や行動を省みることができるようにする。

- ・ 道徳授業地区公開講座の充実

#### 8 頁

##### ⑦ いじめ防止活動に関わる関係諸機関・地域等との連携

- ・ いじめ問題対策連絡協議会の開催（年1回）
- ・ 地区ごとの保護司・民生児童委員との連絡会・訪問
- ・ 四者（児童委員・児童相談所、学校、子ども家庭支援センター等）協議会の開催
- ・ 学校運営協議会の開催
- ・ P T A ・ 育成会等との連携

#### 9 頁

(4) いじめの早期発見～いじめを直ちに発見できる学校づくり～

⑦ 保護者・地域住民等との連携（                    （削除））

- ・ いじめに対する学校の取組姿勢等を学校便りや保護者会等で周知
- ・ 学校のいじめ防止基本方針をホームページで公表
- ・ スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーを保護者会等で紹介
- ・ 保護者が相談しやすい環境を整備

⑧ 児童館（学童クラブ・ひのっち含む）との連携

- ・                     （削除）情報交換（年1回開催）

9頁

(5) 早期対応～いじめを解決し、繰り返さない学校づくり～

(ア) 被害者である子供・加害者である子供・周囲の子供への取組

- ・ 被害者である子供の安全の確保とスクールカウンセラー等を活用した支援
- ・ 加害者である子供に対する指導と背景の理解、組織的・継続的な観察等
- ・ いじめを伝えた子供の安全の確保
- ・                     （削除）

10頁

(6) 「ネット上のいじめ」への未然防止・早期発見・対応

(イ) 未然防止と早期発見の取組

④ 学級活動及び児童・生徒会活動等による主体的な取組

- ・ インターネットや携帯電話（スマートフォンを含む）等の利用に関するルール作りや話し合い活動
- ・                     （削除）

⑤ 教育委員会、PTA等と連携した啓発活動

- ・ 生活指導主任研修会での「ネットトラブルへの対応」等研修会の実施
- ・ 東京都作成リーフレットの配布

(4) いじめの早期発見～いじめを直ちに発見できる学校づくり～

⑦ 保護者・地域          との連携（いじめ防止7つのアクション）

- ・ いじめに対する学校の取り組み姿勢等、学校便りや保護者会で周知
- ・ 学校のいじめ防止基本方針のホームページで公表
- ・ スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの保護者会等で紹介
- ・ 保護者が相談しやすい環境を整備

⑧ 児童館（学童クラブ・ひのっち含む）との連携

- ・ 生活指導主任研修会での情報交換（年1回開催）

9頁

(5) 早期対応～いじめを解決し、繰り返さない学校づくり～

(ア) 被害者である子供・加害者である子供・周囲の子供への取組

- ・ 被害者である子供の安全の確保とスクールカウンセラー等を活用した支援
- ・ 加害者である子供に対する指導と背景の理解、組織的・継続的な観察等
- ・ いじめを伝えた子供の安全の確保
- ・ いじめ防止カードの活用

10頁

(6) 「ネット上のいじめ」への未然防止・早期発見・対応

(イ) 未然防止と早期発見の取組

④ 学級活動及び児童・生徒会活動等による主体的な取組

- ・ インターネットや携帯電話（スマートフォンを含む）等の利用に関する授業や話し合い活動
- ・ 児童会・生徒会サミット

⑤ 教育委員会、PTA等と連携した啓発活動

- ・ 生活指導主任研修会での「ネットトラブルへの対応」等研修会の実施
- ・ 東京都作成リーフレットの配布

- ・ PTA、地域対象の講演会の実施：家庭教育学級、ファミリールール講座
- ・ インターネットや携帯電話等の利用に関して、家庭でのルールを作るように啓発する
- ・ \_\_\_\_\_（削除）

11頁

### 3.重大事態への対処～学校、保護者、地域が一丸となって子供を守り抜く～

#### （5）保護者・地域住民等・関係機関や専門家等との連携した取組

迅速かつ的確に問題を解決するために、保護者や地域住民等、関係機関と連携し、社会総がかりでいじめ問題の解決に取り組みます。

#### （7）重大事態に係る事実関係を明確にするための調査の実施

重大事態に係る事実関係を明確にするため、適切な専門家等を含む重大事態調査委員会を設置し、調査を速やかに実施します。調査の実施主体については、重大事態の発生の報告を受けた教育委員会が判断します。

また、調査によって明らかになった事実関係について、被害者や加害者である子供やその保護者に対して、適時・適切な方法で説明をします。

12頁

### 4. 調査の主体と組織、実施

全部追記

付 則

この方針は、令和 8 年 4 月 1 日から施行する。

- ・ PTA、地域対象の講演会の実施：家庭教育学級、ファミリールール講座
- ・ インターネットや携帯電話等の利用に関して、家庭でのルールを作るように啓発する
- ・ 日野市版「ひのっ子」啓発パンフレットの作成・配布

11頁

### 3.重大事態への対処～学校、保護者、地域が一丸となって子供を守り抜く～

#### （5）保護者・地域・関係機関や専門家等との連携した取組

迅速かつ的確に問題を解決するために、保護者や地域\_\_\_\_、関係機関と連携し、社会総がかりでいじめ問題の解決に取り組みます。

#### （7）重大事態に係る事実関係を明確にするための調査の実施

重大事態に係る事実関係を明確にするため、適切な専門家等を含む重大事態調査委員会を設置し、調査を速やかに実施します。調査の実施主体については、重大事態の発生の報告を受けた教育委員会が判断します。

また、調査によって明らかになった事実関係について、被害者\_\_\_\_\_である子供やその保護者に対して、適時・適切な方法で説明をします。

付 則

